

2024年7月 (No.421)

## 主な内容とページ

日本の半導体関連上場企業、調整から成長回帰ねらう .....	1
前期結果は国内堅調、世界低迷に連動.....	2
上位5社が売上1兆円超 .....	2
利益額では信越が圧倒的、時価総額ではTEL.....	6
材料、装置分野で相次ぐTOB .....	10
再編続行、商社.....	10
利益率 大手が上位に食い込む .....	11
思考停止、漂流する日本(SRL だより).....	14

## 日本の半導体関連上場企業、調整から成長回帰ねらう

半導体を収益の柱としている上場企業132社の23年度業績は低調だったが、今年度は再び成長が期待出来そうだ。

- 対象132社の総売上は前期比5.4減の20.62兆円、経常利益は同21.1%減の3.04兆円と減収減益だった。経常利益率は前年度の17.8%から14.8%に下落した。
- 132社中、45社が売上、27社が利益でそれぞれ過去最高を更新した。うち20社は売上および利益ともに最高を更新。輝く成果を達成した。
- 今年度は、材料、製造装置分野の企業を主体に増収増益を見込んでおり、売上で最高更新の一方、利益面では水面下にとどまりそうだ。

## 思考停止、漂流する日本

自民党の裏金問題、争点不明、議論不在の都知事選、海上自衛隊の不祥事、内部告発に対する自治体首長や警察署長のすっきりしない対応。われわれの回りにあきらめ、困惑、自分さえ良ければという利己主義、展望不在の目先対応がみられる。わが日本丸は、思考停止、漂流しているようにみえる。

誰がトップになっても政治は変わらず経済は低迷。これ以上悪くなるのを止めてほしい。多くの国民が感じていると思う。日本復活の妙案\*などあり得ないのが実情だろう。繊維、鉄、ラジオ、カメラそして半導体と次々と敗退した米国も 70 年代末は同じ雰囲気だった。街はさびれ倒産は増加、犯罪など社会不安が増大した。

米国はその後復興、その端緒は「レーガノミクス」だが、全米の総力を結集した数々の報告「ヤングレポート等」が経済再建に反映された面が濃い。わが国「アベノミクス」は道半ば、果たして新たな取組は。ただし産官学の総力を結集、開かれ熟考されたものにすべきで、特定集団の利益は排除、中立公正は不可欠だ。

(大竹 修)

\*思い付き、その場限りのようなものではなく時間をかけ、練り上げ、ひいては国民の合意につながるものを苦勞して造ることが望まれる。

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2024 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2024 年 7 月 (毎月 1 回発行) 第 35 巻 7 号 (通巻 421 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2024

### SRL Monthly Report

July 2024, No.421

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円 (税込み)